



# 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月2日

上場会社名 レンゴー株式会社

上場取引所 東

コード番号 3941 URL <https://www.rengo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 川本 洋祐

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経財本部長 (氏名) 山崎 宏信

TEL 06-6223-2371

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日

2023年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	452,874	9.5	25,675	65.3	27,461	53.9	18,409	52.9
2023年3月期第2四半期	413,506	13.7	15,528	23.5	17,849	20.7	12,041	36.9

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 42,960百万円 (25.3%) 2023年3月期第2四半期 34,283百万円 (20.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	74.32	
2023年3月期第2四半期	48.62	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,131,787	425,350	36.4
2023年3月期	1,053,138	385,732	35.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 411,636百万円 2023年3月期 372,795百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		12.00		12.00	24.00
2024年3月期		12.00			
2024年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	930,000	9.9	47,000	81.1	49,000	70.8	32,000	56.7	129.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	271,056,029 株	2023年3月期	271,056,029 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	23,354,596 株	2023年3月期	23,365,876 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	247,700,425 株	2023年3月期2Q	247,667,683 株

(注)当社は、取締役等に対し、信託を用いた株式報酬制度を導入しており、当該信託口が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、[添付資料]P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、物価上昇の影響はあったものの、新型コロナウイルス感染症の5類移行や政府による各種政策効果もあり、人流の増加、輸出や企業収益を背景とした設備投資の持ち直し等により緩やかな回復基調が続きました。

このような経済環境の中で、板紙業界におきましては、段ボール需要の減少、低調な輸出も相まって、生産量は前年を下回りました。

段ボール業界におきましては、食品や通販・宅配分野は堅調に推移したものの、幅広い分野で需要が低迷し、生産量は前年を下回りました。

紙器業界におきましては、ギフト商品をはじめとする需要減により、生産量は前年を下回りました。

軟包装業界におきましては、脱プラスチックの動きはあるものの、食品関係を中心とする底堅い需要に支えられ、生産量は前年を上回りました。

重包装業界におきましては、石油化学関連需要の減少により、生産量は前年を下回りました。

以上のような状況のもとで、当社グループは、あらゆる産業の全ての包装ニーズをイノベーションする「ゼネラル・パッケージング・インダストリー」＝GPIレンゴーとして、営業力の強化、積極的な設備投資やM&A等を通じ、業容拡大と収益力向上に鋭意取り組んでまいりました。

本年6月、軟包装事業の一段の拡充を目指しサン・トックス株式会社(東京都台東区)と三井化学東セロ株式会社(東京都千代田区)のパッケージソリューション事業を統合して子会社化(新社名：アールエム東セロ株式会社)することを決定したほか、8月には、朋和産業株式会社(千葉県船橋市)が株式会社金羊社(東京都大田区)と丸福株式会社(石川県白山市)の水性フレキシ印刷事業を統合・一元化し、環境配慮型製品等多様化するニーズに対応する体制を整備しました。

また、10月には、紙器事業の経営効率の向上と競争力の強化を図るため富士包装紙器株式会社(滋賀県蒲生郡日野町)と丸福株式会社が合併(新社名：富士丸福株式会社)しました。

海外におきましては、4月、トライコー社(ドイツ)が最先端技術を駆使した新工場の建設を決定するとともに、5月には、トライウォール社(香港)が中国に設立した新会社において営業運転を開始するなど、重量物包装資材事業のさらなる拡充に取り組みました。

ESG経営における環境への取組みは、“Less is more.”をキーワードに掲げる当社グループとして最も優先すべき課題であり、2030年度におけるCO<sub>2</sub>排出量削減目標「2013年度比46%削減」に向け、石炭使用ゼロを実現すべく、2026年に金津工場(福井県あわら市)、2027年には丸三製紙株式会社(福島県南相馬市)の燃料をLNGに転換します。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は452,874百万円(前年同期比109.5%)、営業利益は25,675百万円(同165.3%)、経常利益は27,461百万円(同153.9%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は18,409百万円(同152.9%)となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの概況は、次のとおりであります。

## [板紙・紙加工関連事業]

板紙・紙加工関連事業につきましては、販売量の減少はありましたが、製品価格の改定により増収増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は255,001百万円(同106.7%)、営業利益は17,956百万円(同198.3%)となりました。

主要製品の生産量は、次のとおりであります。

(板紙製品)

板紙製品につきましては、段ボール需要の減少に加え、低調な輸出の影響を受け、生産量は1,221千t(同93.8%)となりました。

(段ボール製品)

段ボール製品につきましては、幅広い分野で需要が減少したことにより、段ボール2,128百万㎡(同96.5%)、段ボール箱1,787百万㎡(同96.8%)となりました。

#### [軟包装関連事業]

軟包装関連事業につきましては、製品価格の改定が寄与し増収増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は60,311百万円(同106.1%)、営業利益は2,282百万円(同143.5%)となりました。

#### [重包装関連事業]

重包装関連事業につきましては、石油化学関連需要の減少により、減収減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は22,422百万円(同98.6%)、営業利益は619百万円(同99.2%)となりました。

#### [海外関連事業]

海外関連事業につきましては、連結子会社が増加したこと等により、増収増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は97,723百万円(同126.3%)、営業利益は4,201百万円(同119.1%)となりました。

#### [その他の事業]

その他の事業につきましては、売上高は前年並みとなりましたが、運送事業の採算悪化等により減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は17,415百万円(同99.9%)、営業利益は502百万円(同73.2%)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、主に受取手形及び売掛金、有形固定資産および無形固定資産の増加により、1,131,787百万円となり、前連結会計年度末に比べ78,649百万円増加しました。

負債は、主に長短借入金や支払手形及び買掛金の増加により706,436百万円となり、前連結会計年度末に比べ39,031百万円増加しました。

純資産は、為替レートの変動に伴う為替換算調整勘定の増加や、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加により、425,350百万円となり、前連結会計年度末に比べ39,618百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は36.4%となり、前連結会計年度末に比べ1.0ポイント上昇しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点では不確定要素が多いため、2023年5月12日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	72,532	86,321
受取手形及び売掛金	242,862	275,992
商品及び製品	43,293	45,307
仕掛品	5,980	6,214
原材料及び貯蔵品	37,980	35,384
その他	11,852	9,690
貸倒引当金	△938	△1,014
流動資産合計	413,564	457,897
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	312,926	321,012
減価償却累計額	△190,992	△195,520
建物及び構築物 (純額)	121,933	125,492
機械装置及び運搬具	646,134	660,977
減価償却累計額	△519,417	△531,577
機械装置及び運搬具 (純額)	126,716	129,399
土地	132,570	134,816
リース資産	29,132	34,471
減価償却累計額	△12,501	△16,584
リース資産 (純額)	16,631	17,887
建設仮勘定	19,077	25,275
その他	26,368	27,492
減価償却累計額	△20,334	△20,967
その他 (純額)	6,034	6,524
有形固定資産合計	422,964	439,396
無形固定資産		
のれん	27,215	28,367
その他	21,265	21,519
無形固定資産合計	48,480	49,886
投資その他の資産		
投資有価証券	138,850	153,900
長期貸付金	548	674
退職給付に係る資産	3,385	3,362
繰延税金資産	2,234	2,016
その他	24,037	25,589
貸倒引当金	△927	△936
投資その他の資産合計	168,129	184,606
固定資産合計	639,574	673,890
資産合計	1,053,138	1,131,787

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	143,950	150,709
短期借入金	134,539	128,176
1年内償還予定の社債	10,110	10,010
リース債務	4,761	5,663
未払費用	33,728	37,728
未払法人税等	5,058	9,591
役員賞与引当金	274	-
その他	35,809	34,418
流動負債合計	368,231	376,298
固定負債		
社債	80,065	80,060
長期借入金	162,774	189,993
リース債務	12,027	12,668
繰延税金負債	25,793	28,179
役員退職慰労引当金	812	737
役員株式給付引当金	599	767
工場移転費用引当金	363	345
退職給付に係る負債	13,542	14,185
その他	3,195	3,201
固定負債合計	299,174	330,138
負債合計	667,405	706,436
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,066	31,066
資本剰余金	33,597	33,887
利益剰余金	252,677	268,122
自己株式	△12,167	△12,554
株主資本合計	305,174	320,521
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,467	43,070
繰延ヘッジ損益	-	2
為替換算調整勘定	28,325	44,491
退職給付に係る調整累計額	3,827	3,550
その他の包括利益累計額合計	67,621	91,114
非支配株主持分	12,937	13,714
純資産合計	385,732	425,350
負債純資産合計	1,053,138	1,131,787



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	413,506	452,874
売上原価	341,954	364,823
売上総利益	71,552	88,051
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	14,260	14,407
給料及び手当	17,148	19,147
のれん償却額	1,268	1,759
その他	23,344	27,062
販売費及び一般管理費合計	56,023	62,376
営業利益	15,528	25,675
営業外収益		
受取利息	112	150
受取配当金	1,172	1,231
持分法による投資利益	797	1,162
その他	2,237	1,975
営業外収益合計	4,318	4,518
営業外費用		
支払利息	883	1,541
その他	1,114	1,191
営業外費用合計	1,997	2,732
経常利益	17,849	27,461
特別利益		
固定資産売却益	28	247
受取保険金	105	154
受取補償金	3,325	13
その他	801	46
特別利益合計	4,261	462
特別損失		
固定資産除売却損	192	494
固定資産圧縮損	1,966	1
その他	1,696	192
特別損失合計	3,855	689
税金等調整前四半期純利益	18,256	27,234
法人税、住民税及び事業税	6,491	9,520
法人税等調整額	△861	△1,249
法人税等合計	5,630	8,270
四半期純利益	12,626	18,964
非支配株主に帰属する四半期純利益	584	555
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,041	18,409

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	12,626	18,964
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	919	7,684
繰延ヘッジ損益	-	2
為替換算調整勘定	13,707	11,328
退職給付に係る調整額	△319	△278
持分法適用会社に対する持分相当額	7,350	5,260
その他の包括利益合計	21,657	23,996
四半期包括利益	34,283	42,960
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33,101	41,902
非支配株主に係る四半期包括利益	1,181	1,058

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 ※1 (百万円)	調整額 ※2 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 ※3 (百万円)
	板紙・ 紙加工 関連事業 (百万円)	軟包装 関連事業 (百万円)	重包装 関連事業 (百万円)	海外 関連事業 (百万円)	計 (百万円)			
売上高								
外部顧客 への売上高	239,083	56,861	22,745	77,391	396,082	17,424	—	413,506
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,013	355	1,597	3,437	6,403	14,110	△20,513	—
計	240,097	57,216	24,342	80,829	402,485	31,534	△20,513	413,506
セグメント利益	9,053	1,590	624	3,526	14,794	686	47	15,528

※1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内における不織布、紙器機械の製造・販売、運送事業、保険代理業、リース業および不動産業を含んでおります。

※2 セグメント利益の調整額47百万円は、セグメント間取引消去であります。

※3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第1四半期連結会計期間にティム・パッケージング・システムズ社(新社名:トライコー・パッケージング・システムズ社)の持分を取得し、同社および同社の子会社を連結の範囲に含めたこと等により、第2四半期連結会計期間における「海外関連事業」のセグメント資産が、前連結会計年度末に比べ、70,922百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「海外関連事業」セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間にティム・パッケージング・システムズ社(新社名:トライコー・パッケージング・システムズ社)の持分を取得し、同社および同社の子会社を連結の範囲に含めたことに伴い、暫定的に算出したのれんの金額を計上してはいたしましたが、前連結会計年度末に取得原価の配分が完了したことから、6,427百万円を計上しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 ※1 (百万円)	調整額 ※2 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 ※3 (百万円)
	板紙・ 紙加工 関連事業 (百万円)	軟包装 関連事業 (百万円)	重包装 関連事業 (百万円)	海外 関連事業 (百万円)	計 (百万円)			
売上高								
外部顧客 への売上高	255,001	60,311	22,422	97,723	435,459	17,415	—	452,874
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,317	307	1,681	2,880	6,187	13,918	△20,105	—
計	256,319	60,618	24,103	100,604	441,646	31,333	△20,105	452,874
セグメント利益	17,956	2,282	619	4,201	25,059	502	113	25,675

※1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内における不織布、紙器機械の製造・販売、運送事業、保険代理業、リース業および不動産業を含んでおります。

※2 セグメント利益の調整額113百万円は、セグメント間取引消去であります。

※3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。